

養成医かわら版

NEWSLETTER



自己紹介

名前 森寛行

勤務先 丹波医療センター

経歴 2003年神戸大学医学部附属病院 研修医
2004年県立柏原病院（丹波医療センターの前身）
2006年神戸大学医学部附属病院総合内科
2020年丹波医療センター
2026年から 兵庫県地域医療総合診療専門医プログラム責任者

【自分のこれまでの経歴を振り返ってと これからについて キャリアドリフト】

皆様こんにちは。

丹波医療センターの森寛行といいます。

前任の見坂先生の異動に伴い、兵庫県地域医療総合診療専門医プログラムの責任者を務めさせて頂くこととなりました。今回、瓦版への投稿の機会をいただくことになりましたので、自己紹介を兼ねて自分の経歴を振り返って、よくも悪くも皆さんの参考にしていただければと思います。

【高校】

出身は富山県高岡市という町です。富山県から医師を目指す場合は金沢大学か富山大学に進学するパターンが多いのですが、その頃の自分は緩和ケア医に興味があったので富山県よりは緩和医療がすすんでいた兵庫県を目指して神戸大学を受験しました。いま振り返ってみると、一般的な進路を少し外れたいという「中二病的な」理由が大きかったのかもしれません。

【大学】

神戸大学医学部には当時は緩和医療の講座や部門はありませんでした。大学4年生の頃に近所の病院で緩和ケア病棟が開設され、ボランティアとして参加する機会がありました。医師になる前に緩和ケア病棟の雰囲気を感じたり、実際に勤務されていた先生の話の聞いたりできたのは貴重な経験でした。

卒後の進路としては、最初に聖隷三方ヶ原病院を受験したのですが不採用になってしまい出身大学での研修をすることにしました。自分は内科系だとは思っていたのですが、特別どの臓器に興味があるわけでもなく、何となく当時の内科系から医局を選ぶことにしました。当時の教授陣の中で一番良い先生だと思った秋田先生が教授をされていた縁で総合内科の道に進むことになりました。

【卒後】

初期研修義務化前の学年だったので、大学病院で1年内科研修して2～3年目は県立柏原病院で勤務。4年目からは大学病院の総合内科（当時総合診療部）に戻って、病院での内科医師今でいうホスピタリストとしての診療・教育を行ってきました。大学病院の総合内科勤務なので、緩和医療が主目的での入院患者さんは基本的にはおられず、自分の中でも緩和医療へのこだわりはなく内科医としての勤務を続けていました。

2020年からは丹波医療センターおよび隣接する丹波市ミルネ診療所に勤務することになりました。大きく変わったのは訪問診療に携わることになったことです。長らく大学病院で働いていたので訪問診療は初めての経験です。病院の外来や病室では分かりにくい患者宅の環境や家族の雰囲気、患者さんの生活を支えるための社会資源の利用など実地で初めて体得できることは数多くありました。

訪問診療は丹波市ミルネ診療所から行っているのですが、丹波医療センターに隣接して深く連携できることがユニークな仕組みです。医療センターで急性期治療した癌患者さんが在宅にもどるときに診療所から訪問診療を行ったり、在宅療養中の方が入院の必要がでてきたときに医療センターに入院したりできる点が強みになっています。緩和医療専門というわけではないのですが、在宅での緩和医療やお看取りをすることもよくあります。学生時代に思い描いていた将来像に一直線に向かった訳ではないのですが、20年経ってから多少携わるようになっていることに不思議な縁を感じたりもします。

【キャリアドリフトという考え方】

やりたい仕事やなりたい自分を詳細、具体的に定めて綿密に計画を立て直線的にその方向に進むキャリアデザインという考え方はあります。しかしデザイン通りのキャリアでは、計画した仕事以外の経験は積みにくかったり、計画と現実が乖離したときの落胆が大きくなったりしがちにもなります。

その一方で、大きな方向性や絶対外せない軸だけ決めておいて、あとは偶然性やその場の自分の興味に応じてキャリアを積んでいくキャリアドリフトという考え方があります。

スティーブ・ジョブズが興味のままにカリグラフィーを学んで、後にMacのフォントに影響を与えたという話が有名ですね。

医師のキャリアも、自分のデザインしたとおりに進む人はおそらく極めてわずかです。試験に落ちるとか、自分や家族が病気をするとか、結婚や出産、パートナーの転勤、上司や同僚の異動、希望しない異動等色々な理由で当初の計画と外れることはあるあるです。

自分自身も今の職場やプログラム責任者のポジションにいることは20年前には全く計画していませんでした。色々な偶然や人とのご縁で今があると感謝しつつ、皆様のよいキャリアの手助けをできればと思っています。

というわけで、総合診療や在宅医療、ホスピタリストとしてのキャリアに興味がある方や、具体的な方向性が決まっていない方、いつでも丹波医療センターに見学にいらしてください。お待ちしております。

